会員さんからの寄付・寄贈

伊藤恵子様よりぬいぐるみの寄贈をいただきました。厚く御礼申し上げます。

研修会・講演会のご案内

◆ 発達障害支援事業第４回講演会　「(仮) 療育を考える～乳幼児期と発達障害～」H27 年 11 月を予定
　参加費：Be サポ会員無料、非会員 1,000 円　　詳細は追ってお知らせいたします。

◆ 静岡県自殺対策緊急強化事業ゲートキーパー養成研修会およびゲートキーパースキルアップ研修会
　伊東市健康医療課主催　スキルアップ研修会　H27 年 10 月 2 日（金）一般市民対象
　賀茂健康福祉センター主催　ゲートキーパー研修会　H27 年 10 月 29 日（木）一般市民対象
　いずれも Be サポートが講師を務めます。

◆ 裾野市健康増進課主催　H27 年度こころの健康づくり講演会
　「ストレスと上手に付き合うには」H27 年 10 月 30 日（金）一般市民対象　Be サポートが講師を務めます。

◆ 定期研修会　　参加費：Be サポ会員無料、非会員 1,000 円
　参加資格：守秘義務を課せられた専門職の方が参加できます。初めて参加される方は Be サポートまでご連絡ください。
　①「子どものそだち研修会」　H27 年 10 月 9 日（金）18:30　偶数月開催　場所：大手町会館
　　子どものこころの健やかな成長を支援するスクールカウンセラー、児童支援員等のための研修会です。事例検討、講義等を通して学び、子どもの支援者ネットワークとしても生かされます。
　②「東部アセスメント研究会」　H27 年 9 月 11 日（金）18:30　奇数月開催　場所：大手町会館
　　事例検討を中心とした心理アセスメントの研究会です。参加者同士で意見交換をしあい、学びを深めます。

Be サポート業務一覧

相談・カウンセリング事業
カウンセリング、プレイセラピー、心理検査

医療・保健・福祉・教育等 地域機関への協力
精神保健福祉センター（ひきこもり相談）
市民メンタルヘルス相談
母子保健事業（乳幼児健診・発達相談・療育教室）
教育委員会（就学指導・特別支援教育・巡回相談・講師）
県立高等学校（スクールカウンセラー）
NPO 法人静岡犯罪被害者支援センター
社会的養護関係施設第三者評価事業
静岡県自殺対策緊急強化事業ゲートキーパー研修

被災者支援事業
東日本大震災被災者支援活動「OHANA」

企業・事業所への支援事業
メンタルヘルスカウンセリング
自死後のメンタルヘルス緊急支援
企業研修会への講師派遣

研修・啓発事業
専門職対象の定期研修会開催
一般市民対象の講演会開催

児童発達支援事業
障害児・者総合サポートセンター　みつばち
(児童発達支援「あんず」・放課後等デイサービス「かりん」
保育所等訪問支援・指定計画相談支援・指定障害児相談支援)

平成 27 年度 4 月～8 月期　　依頼協力事業
(株) アイエスエフネットライフ沼津事業所　ご家族と語る会　講師
6 月 26 日「「障害のあるわが子を支え続けるために大切な事」／7 月 24 日「子どもの発達に寄り添う関わり方」

Be サポート　会員募集

NPO 法人とは利益を目的とせず、社会や地域のニーズを追求し応える活動を行う団体です。臨床心理士を中心とした有志で Be サポートを設立しました。専門的な視点から地域のさまざまなこころの問題に取り組んでいます。現在、正会員 50 名、賛助会員 10 名、学生会員 2 名（2015.7 時点）で活動しております。私たちの活動を応援してくださる会員の方を募集しております。会員の方へは会報誌の送付、研修会や講演会の参加費用割引が適用されます。また地域で働く援助職の方には、ネットワークづくりとしても活用していただいております。

特定非営利活動法人　臨床心理オフィス　Be サポート

クローバー通信

2015 年 9 月 1 日発行　Vol.9

NPO 法人 臨床心理オフィス Beサポート
〒4100056 沼津市高島町 29-11 盟萌ビル 201
Tel/Fax　055-925-1701
Mail　be-sapo@mail.wbs.ne.jp
HP　http://be2011.jimdo.com/
発行責任者　皆川行寛

発達障害児・者サポートセンターみつばち　設立 1 周年を迎えて

センター長　三須友恵

平成 26 年 4 月「障害児・者総合サポートセンターみつばち」を立ち上げ、早くも 1 年以上が過ぎました。開設当初から利用してくれているお子さんも、学年がひとつ上がり多くの学校行事を乗り越え、随分と逞しくなったと感じます。子どもの成長を間近で見るたびに、困難も多々ありますが、施設を立ち上げて良かったと強く思います。

施設の発足を考えるようになったのは、当法人の事業を展開していくなかで、子どもの発達に関する保護者からの相談、子どもの発達検査の依頼が年々増えていったことがきっかけです。また、近隣市町から依頼されて行っている保育園・幼稚園の巡回相談では、各スタッフから就学前の子どもの専門療育のニーズが高まっているという話もよく耳にしました。調べてみると、静岡県東部地区において、臨床心理士が積極的に関わっている療育機関の社会資源がないことも分かりました。地域の状況を知れば知るほど、発達に偏りのある子どもたちとそのご家族に、一貫したより専門的な療育支援をする施設を立ち上げたい、という思いは強くなりました。

当初は、小学生を対象にした放課後等デイサービス「かりん」のみのスタートでしたが、半年遅れて、同年 9 月、児童発達支援「あんず」、保育所等訪問支援の機能を加えた多機能型の施設に移行しました。早期療育が重要であり、小学校に入学してからではなく、その前から適切な支援を受けることで、子どもたちがスムーズに就学を迎えられるように支援したいと考えていたからです。

「みつばち」の特徴は、臨床心理士を中心とした多職種の専門家（精神保健福祉士・保育士・看護師・児童指導員等）が、発達障害に特化した療育を行う機関であるということです。それぞれがもつ知識と経験で、発達の特性をアセスメントし、個々に応じた関わりを工夫しています。そんなスタッフの関わりをみて、保護者の方も信頼を寄せて下さり、日々の不安や御苦労を、顔を合わせた際に話していただけるようになりました。

私たちが目指すのは、「こころと個性と感性をはぐくむ療育」です。子どもたちが、自分らしく豊かに暮らしていけるよう、それぞれの発達段階・特性に応じた支援を今後も行っていきます。算数や国語の苦手の克服も大切です。しかし、もっとも大切なのは、素直な気持ち・他人を思いやる気持ちだと考えています。お友だちと仲良く過ごす楽しさ、仲間に認められる体験を重ね、社会性をもった言動を身につけていってほしいと思います。苦手なことも、大人が一貫した態度をもって、根気よく関わることで、少しずつですが確実に子どもたちは成長しています。子どもたち自身がもつ、成長する力を信じて、これからも心のこもった療育を継続していきたいと思っています。

Be サポートからおしらせ

☆　みつばちスタッフ募集中　☆
子どもの療育支援・預かり支援・送迎などを一緒にしてくださるサポーターを募集しております。短時間のパート勤務となります。詳細は Be サポートへお問い合わせください。お知り合いの方など、ぜひご紹介ください！！

活 動 報 告

ISF ネットライフ静岡　講演会

『 障害のあるわが子を支え続けるために大切な事 』

沼津市の障がい者就労支援事業所「ISF ネットライフ静岡」からの依頼を受け、知的障害、発達障害、精神疾患を持つ利用者のご家族約 80 名の方々を対象にお話しさせていただく機会を頂きました。

知的障害は人口の約 0.3%の方に見られる先天的障害です。療育手帳の取得により作業所や一般の事業所内での福祉就労という選択が可能となるなど、社会的支援は比較的早くから整備されてきました。発達障害も先天的障害と考えられています。概念の広がりとともに学齢期までの支援が受けやすくなったとはいえ、知的能力やコミュニケーション能力などに大きな特徴があるにもかかわらず手帳取得が困難な場合が多く、就労選択が難しい現状があります。

精神疾患は後天的な疾患ですが、2011 年の厚生労働省調べでは、糖尿病患者数 270 万人、がん患者数 152 万人を超えて、精神疾患の患者数は 320 万人、国内五大疾患の一つと認定されるほど年々増加しています。統合失調症、強迫性障害などは、思春期から青年期に発症するためその後の就労が難しく、就労でのストレスなどから重篤なうつ病や不安障害を患い就労継続が難しくなる場合もあります。それまでできていたことができなくなる、以前の本人と全く様子が変わってしまうなど、ご本人もご家族も症状の理解が難しく、複雑な葛藤を抱えがちです。

いずれの場合も、ご本人の生活のしづらさ、大変さ、辛さをご家族が十分に理解し、支え続けていくことが必要です。先天的障害であっても、成長や環境の変化とともにご本人の感じる困難さは変化してきます。もはや子どもではなく大人であるということも踏まえ、ご本人のできないことに単純に手を貸したり指示したりという支援ではなく、土台となり支える、陰ながら支えるというご家族の姿勢が大切だと思われます。そのためには、家族外の支援者（主治医、支援事業所のスタッフなど）と密な連携を取り、ご本人への直接的な指示は支援者に委ね、ご家族はご本人の精神的な理解者、安心を与え続ける場所であり続けることが最も大切です。

Be サポートでは、就労に際してのご本人・ご家族からのご相談もお受けしています。ご本人がよりよい生活を送ることができるよう、ご家族と連携を取りながらサポートしていきたいと考えています。

東日本大震災被災者支援事業　OHANA

OHANA 学校は、東日本大震災で被災し、現在も静岡県内で生活している保護者の方が子ども達の長期休み中も安心して働けるように、また、その子ども達が保護者の不在中も落ち着いて生活や学習ができるように支援する活動です。避難直後より、保護者の方は子どもを一人にすることが心配で仕事に行けないことがあり、また子どもも保護者がいない家にいることが不安でいました。OHANA 学校の開校は、こういった所以があります。

2013 年の春休みにスタートし、今年で 3 年目となりました。朝は、日直が朝の会を行ってスピーチをしたり、一人ひとりが今日の学習目標を発表したりします。午前中は学習の時間となり各自で宿題をすすめます。おやつや昼食が済んだら、午後はお楽しみのレクリエーションの時間です。子ども達は、自発的にレクリエーションの内容を話し合い、公園へ出かけたり自由遊びをしたり、「かりん」の子ども達と夏祭り交流も持ちました。最後に帰りの会を行い、今日の良かったことや悪かったことを振り返り、一日の活動を終了します。

今年は例年にない猛暑のため集中が途切れやすく、また、学年が上がり宿題の内容も難しくなる等の苦労もありました。大学生スタッフが上手に関わってくれ、子ども達も「次はいつ来るの？」と楽しみにしていました。学生の皆さんは心理学の勉強をしていることもあり、自らの学びにもなっているようでした。

参加者の中には、小学生の頃から参加し中学生になった子どももいましたが、OHANA 学校を安心できる場として感じてくれたのか、今年も部活の合間を縫って参加してくれました。中学生として、小学生たちをまとめてくれる等、たくましく成長していました。子ども達は、自発的に勉強や活動を進めたりと、大人任せにせずに自分たちで生活していこうとする意識が見られました。

子ども達の中には、学習意欲や学校での適応の問題等を抱えている場合もあります。OHANA 学校は相談の場としても機能しており、今後も生活と成長に寄り添った支援を行っていきたいと考えています。

Be サポ会員 掲示板

☆ あたらしく会員さんからの自由な情報発信欄を設けました ☆

みなさまが行っている様々な活動の報告や広報などに気軽にご利用いただけます！

「こんなことしています！」「イベントがあります！」「ぜひ一緒に参加してみませんか？」など

投稿ご希望の方は、Be サポートまで、電話・メール・FAX などでお知らせください。

助 成 ・ 寄 付 ・ 寄 贈 報 告

ABC しあわせ基金　みつばち車両寄贈受納

平成 27 年 6 月 11 日、静岡県社会福祉会館にて車両の贈呈式がありました。紙面を借りて、株式会社 ABC 様、静岡県社会福祉協議会様に対して厚く御礼申し上げます。

Be サポートが、ここ数年、特に力を入れている事業として、発達に偏りを持つ子どもへの支援があります。お子さんの特性は様々で、それぞれに応じた支援・療育を提供することが求められます。能力や社会性の成長を促すため、専門家による適切な支援・療育を提供できる場として、平成 26 年 4 月に「障害児・者総合サポートセンターみつばち」を立ち上げました。定員 10 人という少人数グループによる家庭的な雰囲気の中で、子どもたちは様々な体験をし、生活で生かせるスキルを身につけていきます。私たちは、「こころと個性と感性をはぐくむ療育」を目指し、その子がその子らしく生活できるように支援を続けていきたいと思います。

この度の贈呈は、みつばちの事業が公に評価されたものと自負しております。今後もこの贈呈を励みとして、発達に偏りのあるお子さんとそのご家族への支援に力を入れていきたいと思っています。

その他の助成・寄付寄贈

助成「静岡県社会福祉協議会ふれあい基金
東日本大震災に関わる避難者交流活動助成金」

東日本大震災被災者支援活動 OHANA の秋の防災交流事業に対して 30 万円の助成をいただきました。贈呈書では「東日本大震災に係る避難者と住民の交流活動を通じて地域福祉・在宅福祉に積極的に取り組まれ地域福祉の推進に大きな貢献をされておられます。よってここに助成を行い今後の活動を期待します」というお言葉をいただきました。これまでの OHANA の活動が認められたことを嬉しく思い、また OHANA を支えてくださっている皆様に感謝を申し上げます。今後も OHANA の継続に努めてまいります。

寄贈「マックスバリュ東海（株）
幸せの黄色いレシートキャンペーン」

お客様がレジ精算時に受け取った黄色いレシートを地域のボランティア団体名が書かれた店内備え付けの BOX に投函していただくことで、レシート合計の 1%分の品物を各団体に寄贈する取り組みです。イオン様、地域の皆様より Be サポートの活動を支持していただき、45,900 円分の商品寄贈を受けることができました。子どもを預かる上で必要な防災グッズや衛生管理品、日用品を受納いたしました。感謝申し上げます。

みなさんのお仕事　教えてください！第２回　「巡回相談」についてうかがいました

Be サポートでは、近隣の市町の教育委員会からの委託を受けて幼稚園・保育園、小学校、中学校の巡回相談を行っています。巡回相談は、知的発達の遅れや発達の偏りがあるために学習・生活・行動の様子が気になるお子さんが主な対象で、特別支援教育が必要か否かの判断や日常の支援の手立てについて具体的な助言をします。また、通級指導教室を利用するかどうかという審議を専門家会議によって行います。

筆者は小・中学校に出向きます。学校からの資料や掲示物・作品などの情報を得て、授業参観にて観察をし、お子さんの理解を深めていきます。乳幼児健診等で経過を見ていたお子さんであれば、就学前の情報もあるので役立ちます。

授業参観の後に、校長・教頭・担任・コーディネーターの先生方との検討会を行います。先生方の困り感をくみ取り労いながらお話をうかがい、今後の学校生活の中で先生方の対応の工夫等についての助言をします。

また、市町によっては、普通学級に在籍しているお子さんを対象に支援学級や支援学校への移行について検討する材料として発達検査を行う場合もあります。検査については保護者の方とよく相談をした上で行います。検査結果は対象のお子さんがよりよく学校生活を送れるよう考え、その子の良い特性を生かしながら、弱点となる部分をどのように支援していくか具体的なアドバイスをします。数値だけが独り歩きをしないように配慮しながら結果の説明を行っています。